



発行
日本共産党
寝屋川市委員会
072-823-0058
FAX: 823-4336
No. 3471

寝屋川市議会議員

中林かずえ
宝町 4-33
090-3944-8385
寝屋川市議会議員

松尾信次
下木田町 12-6
090-3056-9924
寝屋川市議会議員

西田まさみ
石津中町 30-3
090-9713-3588

前寝屋川市議会議員

太田とおる
高柳 2-49-2
080-3818-0722

全国一高い大阪の国保料 「大阪府で一つの国保」でさらに引き上げへ

国保料引き下げこそ 寝屋川市民の強い願い

日本共産党は全国の国民健康保険料の調査を行いました。国保は17年度までは市町村が独自に財政を運営し、国保料を決める仕組みでしたが、18年度からは市町村と府県との共同運営となり、府県が「標準保険料率」を市町村に示すという形で、値上げの圧力をかけてきました。

この中で、大阪府で国保料が値上げされる自治体が全国で最も多いこと、大阪府の自治体の保険料が最も高いことが明らかになりました。年収400万円、4人世帯で計算した全国の自治体の国保料で、

大阪府43自治体のうち38自治体が全国上位100位のうちに入っています。同率11位に大阪府の14市町村が並んでいます。これは大阪府が示した「統一保険料」にそろえた自治体です。「統一保険料」は50万円を超えています。中小企業の労働者が加入する協会けんぽの2倍をこえる負担となります。

このような中、大阪府は全国にきぎかけて、国保料府内完全統一化を実施し、市町村が独自で国保料を決められなくする。府内市町村の国保料を同じにしようとしています。また、市町村が独自の国保料の減免ができないよう

にしよつとしていきます。肝心の高い国保料の引き下げでなく、さらに

寝屋川市6年間で34億円 基金活用し負担軽減

寝屋川市では2008年、全国で最も高い国保料という中で、歴

代市長のもとで国保料引き下げの努力がされてきました。最近ではこの6年間、基金を34億円活用し、保険料を引き下げてきました。また、経済的理由で、市民から払えないという相談があれば、事情を聞いて、市独自で国保料の減額もしてきました。これらをやめさせて、国保料の引き上

げを行うことはあつてはなりません。国民健康保険法では、「市町村が保険料の賦課をおこなう」と定められています。国と大阪府に制度改正を強く求めるとともに、寝屋川市のひきつづくとりくみがもめられます。



府営住宅入居者募集

申込期間：2月1日～2月15日
申込書は、日本共産党寝屋川市委員会
にあります。(八坂町15-35)
※お問い合わせは、市議会議員まで

高すぎる国民健康保険料を引き下げ 医療保険制度を守る日本共産党の提案

1. 高すぎる国保料を「協会けんぽ並み」に引き下げる

全国知事会の2014年の提言も踏まえ、現在、国・都道府県で合わせて4,5兆円となっている公費負担を1兆円増額。それによって、世帯員の数に応じてかかる均等割、各世帯に定額でかかる平等割という、「人头税」のようにかかってくる保険料算定をなくし、国保料を協会けんぽの保険料と同じ水準まで引き下げる。

2. 国による保険料の免除制度を作る

現行の国保制度にない、災害などで所得が激減した人の保険料を一時的・臨時的に免除する仕組みをつくり、生活に困窮する人の国保料を免除し、その費用を国庫で補う。

3. 無慈悲な保険証の取り上げや強権的な差し押さえをやめる

失業、病気、事業不振などで国保料を払えなくなった加入者に追い打ちをかける、無慈悲な滞納制裁をやめさせる。
滞納者からの保険証の取り上げなど、医療を受ける権利を奪う制裁をなくす。

4. 「国保の都道府県化」を利用した、さらなる保険料値上げを許さない

国保の財源を都道府県に集約することで、市町村が独自に行っている国保料の軽減をやめさせ、さらなる値上げを行わせる、自公政権の改悪を中止・撤回する。

自治体独自の国保料軽減の取り組みを維持・拡充し、住民本位の国保行政を推進するため力をつくす。

市内西地域の浸水対策を促進 古川雨水幹線バイパス工事

1月11日、古川雨水幹線の工事現場の議員見学に西田議員が参加しました。

古川雨水幹線バイパス管工事は、萱島ポンプ場へ効率的に雨水を集めるとともに、本市西部地域の雨水が集中する古川水路の雨水流量の負担を軽減するために、府道木屋門真線の地下に直径2・4mと直径1・0mのバイパス管を埋設する工事です。計画区間は、直径2・4mのバイパス管は寝屋川市立第二中学校から中神田町4番先までの約1880mの区間です。直径1・0mのバイパス管は寝屋川市立第二中学校から池田三丁目1番先までの約450mの区間となります。

この日の見学は、立坑(たてに掘られた坑道。この立坑は深さ約20m)に設置されたシールドマシン

ルドマシン(トンネルを掘るための機械)が完成したことによる見学となりました。



立坑内部とシールドマシン

立坑の上から見たシールドマシン



トンネルを掘る機械 シールドマシン



2024年2月からシールド工法によりトンネルをつくる工事が行われます。地中、13mから15mのところを1日約7、

8m掘り進めていきます。完成は、2027年7月31日の予定です。24時間工事をするため、騒音により近隣住民に迷惑をかけるような防音ハウスが設置されています。

(シールド工法) シールド機により地下で地盤を掘削し、トンネルをつくる工法。地下の工事なので交通への影響が小さく早期に施工できる。

(仮称) ねやBUS事業によるこびの声

1月17日の臨時市議会で採決された、(仮称)ねやBUS事業は、バス利用者の方たちから「私たちの生活の足が守ってもらえた」とよろこびの声があがっています。

一部をご紹介します。

○「寝屋川民報を読みました。バス廃止の件、どうなることかと心配していたのですが、おかげさまで一安心です。ありがとうございました」

との声が届きました。

「ごくろうさまです。これからのとりくみが大事になります。多くの方に利用してもらえるように、とりくみます」とお返事すると。

○「本当にそうですね。私も出かける回数を増やして、もっとバスを利用するようにしようと思います」

と再度お返事がありました。



議員回誌



西田 まさみ

1月1日に発生した能登半島地震は、いまだ被害の全容がつかめない状況です。

断水が続く、お風呂や洗濯に使う水が不足しています。

避難所では、まだ1万人以上の人たちが、劣悪な環境の中での生活を余儀なくされています。

私は、被災された皆さんを支援したいと思いい、この間、駅頭やスーパー前で支部や後援会のみなさんと一緒に募金活動を行っています。

香里園駅前で、夕方4時過ぎに行った行動では、小学生の男の子が募金箱に駆け寄り、

お小遣いからでしょうか募金をしてくれました。

小さい女の子が、お母さんからお金を受け取り背伸びして入れてくれました。

「これくらいしかできませんが」と1万円札を入れてくださった男性、「何かしたいと思っていました」と言いながら募金してくださった女性。

これまで、5回の募金活動で5万円を超える募金が寄せられました。みなさんからの、心のこもった募金は、しっかりと被災地へと届けます。